

令和6年度 第1回魚津市地域クラブ推進協議会

1 日時 令和6年8月30日(金) 19:00～20:45

2 場所 ありそドーム 研修室

3 参加者

市スポーツ協会 各スポーツ競技団体(11競技) 代表
吹奏楽指導者 学びの森みらい会議 代表
市PTA連合会 商工会議所 市中学校長会 市中学校体育連盟 各代表
事務局：市教育委員会(事務局長 担当課長 担当)

4 協議内容

(1)地域クラブ活動の現状

※協議会資料参照

(2)今後の取組の方向性

※協議会資料参照

(3)意見交換

<実施8クラブからの現状報告> ※協議会資料参照

○水泳

・スポラの教室Aと合同で行っている。

○サッカー

・中体連の大会にKSSとして出場。
・グラウンドの設備(ゴールネット等)の老朽化が課題。

○ラグビー

・現在は12名だが、3年生がぬけると4名となる。中学生だけでなく、スポ少とも連携して競技人口を増やしていきたい。

○柔道

・レベルアップを目指す生徒には、他市町のクラブを紹介している。
・クラブ活動時に怪我が1件あった。怪我の防止、対応を徹底していく。

○剣道

・試験期間の活動についてどのような対応をとっているか知りたい。

(他クラブ回答)

試験期間中の活動参加は任意としている。人数が少ない場合もあるが、活動は行っている。東部と西部でテスト期間を同じにしてくれればありがたい。



・人数がそろわない場合でも活動したら活動実績としてよいのか。

(事務局回答)

人数に関わらず、活動した場合は活動実績として構わない。

○バドミントン

・ジュニアバドミントンクラブのより高いレベルを目指すクラブと土日も楽しく活動したい地域クラブの2つで生徒の活動機会を確保している。

・学校体育館での活動が主であるが、教員なら扱える備品(大型扇風機等)が地域クラブ指導者には使えない場合があるため対応してほしい。

(事務局回答)熱中症対策として、大型扇風機を設置予定である。使用可能になったら各クラブに連絡する。

○陸上競技

・桃山陸上競技場で活動しているが、他の大会等があるため練習日が確保できない月があることが課題である。

○バレーボール

・木曜日に初級者向けの活動を行っている。

<今後の方針案> ※協議会資料参照

(スポラ)

これまでも卓球とソフトテニスについてスポラで小学生、中学生の普及教室を行ってきた。地域移行に合わせて試行を開始した。ソフトテニスは令和6年4月から、卓球は令和6年9月から参加者を募集して教室活動を始めた。スポラで謝金の対応や会場確保を担う。年間35~40回を目安に活動する予定。

<推進体制の見直し案> ※協議会資料参照

(スポーツ協会)

これまでは、教育委員会が中心となってやってきた。これからは、さらに子供たちのために考えて推進していく必要がある。中学生だけでなく、小学生からのつながりを確保して、各競技団体と連携しながら進めていかななくてはいけない。スポーツ協会は、スポーツ少年団や競技団体とのつながりが強いので、スポーツ協会が核となってやっていく。

(卓球協会)

令和7年度から地域クラブとして動きだそうと考えており、スポラ JTC との一本化が理想だと考えている。大会についても JTC として選手を送り出したい。9月からの教室は初心者を中心に受け入れたいと考えている。そこからもっとレベルアップしたい子供たちは、JTC に入ってもらいたい。

(野球協会)

顧問や外部指導者と情報交換を進めている。地域クラブ化の時期は不透明であるが、頃合いを見計らって進めていきたい。

(ソフトテニス協会)

現状スポラで地域クラブ化に向けた教室を行っており、人気も高い。引き続きスポラと連携しながら活動環境を整えていきたい。

(吹奏楽関係者)

東部中学校は45名、西部中学校は1年生14名入ったので21名という人数で部活動を進めている。吹奏楽は課題が山積しており、なかなか地域移行できるものではない。吹奏楽には各校のカラーがあるため、合同で活動することもハードルが高い。コンクールに出られる人数も限られており、合同だと選抜の要素も多くなる。

(中学校)

放課後の子供たちの過ごし方が様変わりしている。部員がたくさんいたひと昔とは違って練習相手がいないという部活もある。子供の数の減少とともに、教員の時間外勤務時間を縮減していくことは急務となっている。それには地域クラブ活動はとても効果的であると考えます。教員も勤務を終えてから専門性を生かして地域クラブ活動に携われるような仕組みを作っていく必要がある。また大会参加費についても生徒間で不公平にならないように東西での連携やPTAとの相談もしていかななくてはならない。今年度は、MT.SUPOLAから県中学校駅伝に参加予定である。

(PTA 代表)

子供たちにとって目的意識をもった地域クラブにしていてもらいたい。子供の減少というものを踏まえながら、活動機会の確保に尽力していきたい。

(商工会議所)

企業として、指導者の確保や応援金の依頼を行っているところである。現在は広報活動を行っており、指導者の確保にむけてPRしている。